

# 宇部市民オーケストラ

## 第15回 気軽にアンサンブル

♪ 日時：2016年7月10日（日）午後2時開演

♪ 場所：ヒストリア宇部 1階イベントホール

♪ 主催ならびに演奏：宇部市民オーケストラ

♪ 後援：宇部市民オーケストラ後援会



本格的な夏の訪れも近い今日この頃ですが、本日は宇部市民オーケストラの「気軽にアンサンブル」にご来場いただきありがとうございます。この「気軽にアンサンブル」は2002年の開始以来、毎年この時期の宇部オケの恒例行事となって今回で15回目を迎えました。日曜日の午後のひととき、いろいろな編成の室内楽の響きをお楽しみいただければと思います。

なお、9月4日の宇部市民オーケストラの演奏会「クラシックの午後：気軽にオーケストラ」は、「ピーターと狼」、「眠れる森の美女」、など物語の音楽を特集したプログラムです。こちらも併せてご来場いただきますようご案内申し上げます。

### プログラム



#### 1. ピアソラ：「アヴェ・マリア」、「フーガ9」、「リベルタンゴ」 （弦楽4重奏）

Vn：安永 恵、松井 颯子、Va：濱野 妙子、Vc：藤野 緑

#### 2. ダンツィ：木管5重奏曲第2番ト短調 作品56-2

F1：村田 恭子、Ob：青木 浩明、Cl：向山 尚志、Fg：小林 太郎、Hr：奥原 和彦

#### 3. モーツァルト：ディヴェルティメント第11番より 第1、3、4、5楽章

Vn1：安永 恵、長岡 祥、松井 颯子、Vn2：清水 治子、松野 和江、柳井 祥子、

Va：濱野 妙子、上野 明弘、押部 奈美子、Vc：加藤 由香里、黒川 明徳、山本 佐織、Cb：鈴木 博之、

Ob：宗國 敦子 Hr：徳永 輝、福田 誠、



◇ ◇ ◇ 休 憩 ◇ ◇ ◇

#### 4. 「アメイジング・グレイス」、「さとうきび畑」、「浜辺の歌」、「海に見える町」 （オーボエ・アンサンブル）

Ob：青木 浩明、中村 香織、宗國 敦子

#### 5. ベートーヴェン：7重奏曲変ホ長調作品20より 第1、2楽章

Cl：植木 章、Hr：福田 誠、Fg：小林 太郎、Vl：安永 恵、Va：濱野 妙子、Vc：藤野 緑、Cb：藤野 隆

#### 6. シューベルト：弦楽5重奏曲 ハ長調 より第4楽章

Vl1：安永 恵、Vl2：清水 治子、Va：濱野 妙子、Vc1：栗林 宏明、Vc2：加藤由香里

## ♪♪♪ 曲目紹介 ♪♪♪

○ピアソラ 「アヴェ・マリア」：もとは歌曲として作曲されましたが、「エンリコ4世」という映画のために、オーボエの曲として編曲されました。どこかエキセントリックな激しさを感じさせる作品の多いピアソラですが、この曲のような叙情的で甘美なメロディも得意としています。静かでシンプルなメロディながら、所々にピアソラらしいドラマチックな展開も見え隠れする美しい作品。

○「フーガ9」：ピアソラが自分で得意と言ってはばからなかったフーガ形式で書かれています。彼はパリ音楽院に留学して、ナディア・ブーランジュ（バーンスタインの師でもある）に師事した時期があり、一般のタンゴ作曲家と違うところは、このようなフーガをさらりと書いてしまう事。

○「リベルタンゴ」：題名は「リベルタ（自由）」と「タンゴ」を合成して付けられたもの。全曲に渡り、躍動するリズム感とエネルギーにあふれ、ピアソラの曲の中でも特に人気の高い曲。サントリーのCMで、ヨーヨー・マがこの曲を演奏する映像が使われたことにより、曲の知名度が高まりました。

○ダンツィ 木管5重奏曲第2番ト短調作品56-2：フランツ・ダンツィ（1763～1826）は、ベートーヴェンとほぼ同時代のドイツの作曲家で、ミュンヘンなどの宮廷楽団員として活躍しました。今日知られている作品はいくつかの木管5重奏曲が主要なもので、本日はその第2番を演奏します。木管5重奏は5種類の異なる管楽器で演奏され、各楽器の音色の対比や組合せが魅力です。この曲は4つの楽章で構成され、第3楽章の中間部ではフルートが美しいメロディを展開します。

○モーツァルト ディヴェルティメント11番：1776年、モーツァルトの姉ナンネルの霊名祝日のために作曲されたこの曲は、弦5部とオーボエ、ホルン2というユニークな楽器編成。全楽章がフランス風の曲想で統一され、お祝いにふさわしい華やいだ雰囲気を持っています。第1楽章冒頭から、第1ヴァイオリンよりもオーボエが活躍するところもあって、ちょっとお洒落なくフランス趣味のオーボエ協奏曲のような雰囲気の曲です。

○「アメイジング・グレイス」：作曲者は不詳、作詞はイギリスの牧師ジョン・ニュートンによる讃美歌です。日本でも映画やTVドラマの挿入歌として使われ、多くの人に愛されています。

○「さとうきび畑」：作曲家の寺島尚彦が、本土復帰前の沖縄を訪問した際に着想を得て作詞も手掛けた歌です。全体を通して「ざわわ」という夏のさとうきび畑を流れる風の音が繰り返されます。戦争で命を落とした人との悲しい思い出の場所となってしまったさとうきび畑、そんな情景を歌っています。

○「浜辺の歌」：林古溪の詩に成田為三が作曲し、1916年に発表されました。神奈川県辻堂海岸を舞台に作詞したと言われています。

○「海に見える街」：1989年公開のスタジオジブリの宮崎駿監督作品「魔女の宅急便」の挿入曲です。物語は、魔女のキキが13歳で一人前の魔女になるために、海辺の街コリコに修行に出ます。そこで、宅急便の仕事を始め、さまざまな経験を通して成長していくキキが描かれています。

○ベートーヴェン 7重奏曲変ホ長調作品20：ベートーヴェンの初期の傑作であるこの曲は、オーケストラを凝縮したような楽器編成で、全般にモーツァルトなどの古典派音楽に倣いながらも、随所にベートーヴェン後期の壮大な楽曲を感じられる全6楽章からなる名曲です。本日は豊かな低音の響きの上をヴァイオリンやクラリネットが明るく爽やかに駆け抜ける第1楽章、美しく甘い旋律を奏でる第2楽章を、元新日本フィルクラリネット奏者で宇部オケのご指導もいただいております植木章さんをお迎えして演奏します。

○シューベルト 弦楽5重奏曲 ハ長調 より 第4楽章：ご機嫌なハ長調。チェロ2本という少し珍しい編成のこの大曲の最終楽章は低音の厚みを生かした土俗的な舞曲です。どこかユーモラスなメロディには美しくハーモニーがつけられ、シューベルトらしい優美さも兼ね備えています。また、それぞれの楽譜にちりばめられたアクセントやフォルザンドは、5人合わさるとリズムの妙となり、曲をあおっていきます。奏者にとっても堪らなく魅力的な作品です。